

平和への誓いも新たに 503柱に哀悼捧げる



仏前に菊の花を捧げ戦没者のめい福を祈った町戦没者追悼式。
戦後60年の節目の時を迎え恒久平和への思いを新たにしました

町戦没者追悼式が十月十五日、町総合開発センターで行われました。昭和二十年の終戦以来、六十年の節目の時を迎えた遺族たちは、平和への願いを新たにし、戦争で無念の最後を遂げた五百三柱の御霊に哀悼を捧げました。

式には、町遺族連合会(帷子敏雄会長)の会員や町関係者など約二百人が参列。民部田幾夫町長は「先の大戦のような惨禍が再び起こらないよう、恒久平和のため不断の努力を傾注することを固く誓います」と式辞を述べました。

参列者は仏前に菊の花を捧げ、祖国と家族の安泰を願いつつ戦死した家族のめい福を静かに祈りました。

工藤忠雄町議が逝去

町議会議員の工藤忠雄氏(横田)が十一月二日午前五時五十六分、盛岡市内の病院で逝去されました。六十三歳でした。

工藤氏は、平成八年の町議会議員選挙で初当選以来、町の発展と住民福祉の向上のため尽力。さらに、議会の各種常任委員長、審査特別委員長などの要職を



歴任。昨年七月には町議三選を果たすなど、今後の活躍が大きく期待されていました。

一方井 立花久幸氏が逝去

一方井財産区管理会会長の立花久幸氏(一方井)が十一月十三日、逝去されました。八十三歳でした。

立花氏は、岩手中央酪農業協同組合専務理事、岩手中央森林組合長、一方井土地改良区理事長、町農業委員会委員、一方井財産区管理会会長の要職を歴任。町



議会副議長を務めるなど、町勢の発展と農林業の振興、住民福祉の向上に尽力されました。